

第9分科会 情報教育

研究課題 情報教育と学校の情報化の推進

趣 旨

現代社会における情報化の進展は、近年めざましいものがある。特にコンピュータや携帯電話等の急激な普及は、「ユビキタス社会」の到来を告げている。このことは私たちの生活に便利さと豊かさをもたらした反面、情報の管理やモラル等の在り方が大きな社会問題となっている。

高度情報通信ネットワークが進展していくこれからの社会では、子どもたちが情報を主体的に選択・活用できる能力や情報社会に参画する態度等を育てるとともに、情報モラルの育成が求められている。

学校教育においては、情報化社会に主体的に対応できる情報活用能力を育成するとともに、グローバル化した知識基盤社会に生きるたくましい日本人の育成を目指すことが重要になっている。

さらに、「分かる授業」や「魅力ある授業」を展開するために、教科の特性や発達段階に応じて、情報機器を有効に活用した指導が求められている。また、子どもたちの興味・関心を高めることや確かな学力の定着に大きな役割が期待されている。

そのためには、教職員の情報活用能力の育成や情報モラルの高揚を図るとともに、情報通信ネットワーク等の積極的活用により家庭や地域への情報の発信、校務の効率化による時間の確保、時間の有効的な活用等に努め、より一層信頼される学校づくりに励まなければならない。

そこで、校長のリーダーシップのもと情報機器の効果的な活用と情報モラルを重視した情報活用能力の育成、また、情報化を推進する教育環境の整備など、情報教育の在り方を明らかにしていく。

研究の視点

1 情報機器の効果的な活用と情報モラルを重視した情報活用能力の育成

これからの社会では、情報を適切・有効に活用できる能力の育成が重要である。子どもたちが情報を主体的に選択・活用したり、情報を生かして自分の考えをまとめたり発信したりする能力や資質を育成することが求められている。

また、情報化社会への参画における責任や義務・態度の問題として、あるいは自他の権利の問題として情報モラルを育成することが重要な課題となっている。

これらの課題への対応については、家庭の果たす役割も大きく、家庭との連携を図りながら推進していくことも大切である。

情報選択・情報活用能力や情報モラルの育成、情報安全等に関する知識の習得など、情報教育の推進に果たす校長の役割と在り方について究明する。

2 学校の情報化を推進する教育環境の整備

学校教育の様々な場面で情報機器を活用できるように、コンピュータの整備をはじめ、教育用ソフトウェアやコンテンツの開発・提供、Webページや電子メール等の積極的かつ有効な活用のための研修の推進など、情報通信環境の整備が大切である。

また、保護者や地域社会及び外部機関との情報交流に努め、開かれた学校・信頼される学校づくりに生かしていくことが求められる中、個人情報保護や子どもたちを有害な情報から守るための対策等、情報管理は大きな課題となっている。

情報通信の積極的な活用や情報管理のための環境整備に果たす校長の役割と在り方について究明する。